



横浜訓盲学院 だより

第22号 (2011年7月号)

2011年7月5日発行

〒231-0847 横浜市中区竹之丸181番地 URL : <http://kunmou.jp/>

事務部

TEL045-641-2626 FAX045-641-2627
E-mail : jimou@kunmou.jp

普通部

TEL.FAX045-662-1710
E-mail : futsuu@kunmou.jp

理療科

TEL.FAX045-662-1833
E-mail : riryuu@kunmou.jp



私立の盲学校がめざすこと

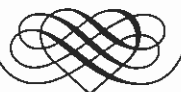
学院長 中澤 恵江

約30年間勤めた国立特別支援教育総合研究所を離れ、今年4月から横浜訓盲学院で仕事をさせていただくことになりました。国立から私立へ移って感じたことは、その違いよりも、大きな共通点があることです。すなわち、公立と同じことをしては、私立も国立も存在する理由を失うという点です。

日本でただ一つの特別支援教育のナショナルセンターの研究者として、在職中は、自分の専門領域である盲重複障がいと盲ろう教育研究において、全国にどう独自の貢献をすべきか常に問われていました。

一方、横浜訓盲学院は、日本でただ一つの幼稚部から高等部専攻科までを持つ私立盲学校です。創立以来121年、その時代時代において、制度の狭間にあった視覚障がいのある人、あるいは盲重複障がいのある子どもの学びを実現し、公立ではなかなか始められない革新的な教育を、キリスト教の愛を土台にして積み重ねてきました。

学院を選んでくださったご家族と生徒さんたちが「ここで学んで良かった」と思える学院であるよう、そして学院の実践が日本の特別支援教育の新しい風になるよう、全教職員とともに努めていきたいと考えております。



「互いに愛しなさい。」

ヨハネ福音書13章34節

《7月の聖句》 愛は相手を利用することではなく、尊重し生かすことです。
そうして、自分も生かされるのです。



「クリスマス・ページェント」について

クリスマス・ページェントとは、イエス・キリストの聖誕劇です。2000年前のユダヤのベツレヘムにお生まれになった救い主(キリスト)の誕生の出来事を聖書に基づいて創られた劇です。その物語には、ヨセフとマリアだけでなく、天使にヘロデ王、羊飼いや博士達、そして、家畜たちが登場しますが、この劇を通して神が私たちと共に居てくださる恵みを知ることができるのです。訓盲学院では、クリスマス礼拝後、みんなで楽しくページェントの劇を行っています。 (横浜上原教会 牧師 古旗 誠)



理事長 埴 忠蔵

視覚障がいの特性に応じた取り組み

卒業式を前に、3月11日に東日本大震災という大きな地震災害が起き、多くの方々が今でも精神的にも肉体的にも限界を超える苦勞に遭遇しています。

災害に遭われた多くの学校では、卒業式も入学式も予定が立てられない状況におかれ、子ども達も学校再開を待ち望んでいました。このように東北の学校では並々ならぬ苦勞をしている中、横浜訓盲学院では、新学院長を迎え、平成23年度をスタートさせる事が出来ました事を感謝しています。学院では一人ひとりが出来る事の輪を広げ助け合う心の大切さを生徒職員に伝えていきたいと考えています。

平成23年度も特別支援教育においては、インクルーシブ教育の方向性に向けた検討が進められ、その中で視覚障がい教育においては、その障がいの特性に応じた専門的な知識と技術の向上が求められていくものと思います。学院ではその求められている教育の質の高さと専門性を追い求め努力し、その質の高さを誇りに継続していきたいと思っています。

平成23年度、学院では短期事業して、重複障がい児でも参加しやすい、分かりやすい空間とする教室、花壇等の環境整備と通学の利便性を少しでも改善出来るようスクールバスの運行を行います。このように一つ一つ改善に向けた取り組みを継続して行ってまいります。

これからも保護者の皆様のご支援とご協力よろしくお願いいたします。

❖❖「桜の入学式・始業式」❖❖

4月8日(金)、桜の花咲く春の日差しの中、横浜訓盲学院では平成23年度入学式・始業式が行われました。

3月11日の東北大震災の余波が残る中での入学式でしたが、今年もまた春を待っていたかのようにピンク色の桜が咲き誇り、新しい気持ちで新入生や進級生の皆さんを迎えることができました。

新しく就任された中澤恵江学院長からは新入学生を温かく迎えるお話があり、普通部のお父さんやお母さんと手をつないだ可愛い一年生や、一つ大人表情になった進級生たち、そして理療科の新たな門出を迎えた新入生たちのそれぞれが、この第一日を期待を持って迎えることができましたと思います。

賛美歌493番の「慈しみ深き」では、「つねに励ましを受けるうれしさ」という一節があります。これから共に過ごし、励まし合い笑い合える友達と巡り会えたことは幸運なことです。



日々の生活に感謝し、保護者の皆様、生徒、教職員が一つになって、また一年を健康で過ごすことができるよう神様にお祈りしたいと思います。



❖❖❖❖保護者参観日❖❖❖❖

4月29日(金)、横浜訓盲学院では第一回保護者参観日が行われました。普通部の幼小グループでは「こいのぼり作り」等、小中グループでは「どんぐり早出しゲーム」等、高等部(普通科・生活科合同)では「六角ボルトのナット付け外し、ボールペンの組み立て」等が行われ、勉強に励んでいる幼児児童生徒の様子、個別や集団授業、教室環境を保護者の皆様に見ていただいたことと思います。

また、午前中には懇談会と給食の試食会、午後には全体会が行われ、今後の学院の教育目標について、各グループの教育内容についての説明が行われました。保護者の皆様からは貴重なご意見をいただき、長時間のご参加への感謝とともに、今後の本校の教育の中に活かさせていただきたいと思っています。

今年度も、有意義な保護者参観日となるよう努めてまいりますので、これからも、皆様のご支援をいただけますようよろしくお願いいたします。

ハマピック

5月8日(日)に三ツ沢公園陸上競技場で開かれた、第16回ハマピック陸上競技大会に普通部生徒14名が出場しました。出場種目は「ソフトボール投げ」「50m音源走」「100m手引き走」「800m手引き走」です。とても暑い中での競技でしたが、これまでクラブ活動や放課後で行ってきた練習の成果を発揮することができ、たくさんのメダルを獲得しました。大会終了後は、「出場して良かった!」という生徒の声をたくさん聞くことができました。当日、応援に来て下さった保護者の方々、ありがとうございました。



運動会

6月4日(土)に5月28日(土)が雨のため順延となった運動会が開催されました。この日のために、各グループは、体育やクラブ活動の時間を使って一所懸命練習に取り組んできました。毎年ダンスでかわいい衣装を見せてくれる幼小グループ、工夫を凝らして新しい演技を見せてくれる小中グループ、紅白に分かれて行う鉄



線走では、白熱した競争が繰り広げられました。そして、恒例のフォークダンスで楽しい時間を終えることができました。応援に来ていただいた保護者の方々、施設職員の方々、ありがとうございました。

臨床実習のご案内

当学院では授業の一環として、あんま・マッサージ・指圧および、はり灸の臨床(治療)を行っています。是非ご利用下さい。



- ★はり灸……………火
- ★あんま・マッサージ・指圧…木
- ★あんま・はり灸……………金

料金 一律 時間 前半 9:50~1000円 (※50分ずつ) 後半 10:50~

- ◆ご予約はお電話で!
- 当日の朝 8:45~9:10
- 電話 090-9009-5882
- ◆お問い合わせは理療科まで
- 電話 045-662-1833

23年の主な行事予定

7月	22日(金)~8月25日(木)	夏休み	6日(木)~7日(金)	秋休み
8月	3日(水)	星の子の集い	11日(火)	後期始業式
	26日(金)	授業開始	22日(土)	学校開放(移動動物園)
	26日(金)	理療科解剖見学	28日(金)	普通部全体遠足
9月	21日(水)	生活科デイキャンプ	11月	保護者参観日
	26日(月)	創立記念日(創立122周年)	3日(木)	PTAバザー
10月	5日(水)	前期終業式	19日(土)	生徒会合同クリスマス祝会
			12月	クリスマス祝会
			22日(木)	冬休み
			23日(金)	
			27日(火)~1月6日(金)	

ユニークなネーミング



人体には、400余の骨格筋がついている。その中でも、顔の筋肉は皮筋と呼ばれ、一端が顔の皮膚についているからである。この筋により、人間は他の動物より表情が豊かである。また、肩凝りの要因となる筋肉に、後頭部から肩、背中の上部にかけて存在する僧帽筋がある。この筋は、西洋の尼さんが頭にかぶる頭巾の様な形をしているところからトラピストの筋、日本語では僧帽筋とよばれている。

一方、ふくらはぎの筋肉は下腿三頭筋といい、踵骨(かかとの骨)まで伸びている。筋肉が骨につくところを腱というが、この腱がご存知のアキレス腱である。アキレスとは、ギリシャの勇将の名で、トロイ戦争の際、ここに毒矢があたって戦死したといわれている。これもおもしろいネーミングだと思う。

2010年度(平成22年度)

賛助金・寄附金並びにご招待の御礼

平素より、本学院の視覚障害教育にご理解ご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

平成22年度(平成22年4月1日～平成23年3月31日)における皆様からの賛助金・寄附金並びに各種ご招待は、下記の通りとなりましたので、ご芳名を掲げ感謝申し上げますとともに御礼申し上げます。

〔賛助金〕ご芳名

(50音順、敬称略)

(個人)

秋山修一(秋山眼科医院)、精木勇、池迫直人、石井和子、伊藤顕司、今村創太、今村謙、今村朋子、今村美保、薄川裕男、江藤潔、エドワードパートバーナード、大崎實、小原亜矢子、小原研二、貝嶋信之、北村光之、久保寺淳夫、越猪政栄、小島洋、斎藤幹一、齋藤忠行、齋藤龍二、佐藤ちくさ、柴山静穂、鈴木晴子、相馬千鶴子、巖瀬夫、巖瀬子、多胡元喜、田中房子、土屋ツヤ子、巖藤梅吉、殿岡時仲、富田香(平和眼科)、ハービン恵子、ハービンデリアス、長谷川光正、境忠蔵、境房代、早川勝男、早水利行、榎村進、福島夕子、古旗誠・由紀子、細田道子、本間善一、正岡幸伸、松本明美、武藤織子、孟学琳、森田厚、森脇亜由美、安實、安田紀彦、矢野梨子、矢野豊、山田典子、山中大治、山中正子、山中幸也、吉見薫歩、渡邊寛子、匿名

(教会関係)

キリスト教保育連盟神奈川支部、チャーチ・オブ・ゴッド川崎キリスト教会、日本ルーテル教団戸塚ルーテル教会、日本基督教団厚木上教会、日本基督教団伊勢原教会、日本基督教団金沢八景教会、日本基督教団鎌倉教会、日本基督教団久里浜教会教会学校、日本基督教団清水ヶ丘教会、日本基督教団新丸子教会、日本基督教団磯沢教会、日本基督教団蒔田教会、日本基督教団翠ヶ丘教会、日本基督教団横浜磯子教会、日本基督教団横浜上原教会、日本基督教団横浜上原教会 婦人の会、日本基督教団横浜大岡教会、日本基督教団横浜菊名教会、日本キリスト教会横浜海岸教会、日本基督教団横浜指路教会、日本基督教団横浜二ツ橋教会、日本基督教団横浜本牧教会、日本基督教団六角橋教会、日本バプテスト連盟横浜戸塚バプテスト教会、日本盲人キリスト教伝道協議会 金澤真実

(学校関係)

青山学院初等部、鍛冶ヶ谷カトリック幼稚園、片瀬のぞみ幼稚園、上屋川幼稚園、関東学院野庭幼稚園、鶴沼めぐみルーテル幼稚園、相模磯ヶ丘幼稚園、桜ヶ丘幼稚園、早苗幼稚園、湘南白百合学園幼稚園、大師新生幼稚園、大師新生保育園、田園江田幼稚園、東洋英和女学院付属かえで幼稚園、ドレーバー記念幼稚園、横浜愛隣幼稚園、横浜三育幼稚園、関東学院六浦小学校、横浜雙葉小学校、捜真女学校中学部高等学部、横浜英和学院、横浜女学院中学高等学校、横浜共立学園、横浜女子短期大学、フェリス女学院大学奨学会、フェリス女学院中学校・高等学校バザー部門、フェリス女学院中学校・高等学校ホワイトボックス係、横須賀学院宗教部

(その他団体)

アंकベル・ジャパン(株)、安藤建設(株)横浜支店、(有)今村塗装工業、(株)オーチャー、柏葉町内会、神奈川県青年商工会、神奈川県眼科医会、コウズイクリップカフェ、(株)協同ビルテック、麗山竹之丸町内会、(株)清光社、(株)泰山園、(株)ダスキン横浜、テクタイト(株)、日興テクノス(株)、(有)増山住設、三浦藤沢信用金庫山元町支店、宮崎ピアノ工房、(有)ヤマキ文具店、(株)有隣堂、横浜関内ライオンズクラブ、横浜訓盲学院同窓会四つ葉会、横浜Baycityライオンズクラブ、渡辺商事(株)

〔特別寄附金〕

財団法人 財団法人 財団法人

〈賛助金〉 4,995,745円

〈特別寄附金〉 798,000円

〔現物寄附〕

平成21年度理療科卒業生(電波式時計5台)、ベルマーク教育助成財団(プレクストーク1台)

〈合計〉 5,793,745円

〔その他寄贈品〕

あじさいの会、大山宏治、川野太郎、北村昭、橋本廣子(日吉慶友クリニック)、巖藤梅吉、豊村悦男、(財)日本テレビ系列愛の小鳩事業団、社会福祉法人桜雲会、大船渡西ロータリークラブ、(株)オーチャー、北島ライオンズクラブ、社会福祉法人視覚障害者支援総合センター、協和発酵キリン(株)、(株)ジャパンビバレッジセントラル、(株)泰山園、田中房子、TBSラジオ編集局、点字絵本の会、ドキュメント・サービスフォーラム、東京ガス(株)、富田香(平和眼科)、名も無きボランティアグループ、ねむの木学園、財団法人日本伝統文化振興財団、NPO法人藤枝光文庫、社会福祉法人ぶどうの木、毎日新聞、発泡印刷やまゆりの会、ゆうちょ銀行、NPO法人ユニバーサルデザイン絵本センター、横浜きょうだいの会、横浜訓盲学院同窓会四つ葉会、リソー封筒(株)、宗教法人靈波之光横浜支部、吉本奈美子、真垣周子

〔ご招待〕

キリンシート事務局

ご協力をお願い
(平成23年度 賛助会員)

私どもの視覚障害教育にご理解いただき、ご支援下さる団体・個人の方々の賛助会員を募らせていただいております。よろしくお願い申し上げます。

【年会費】 法人(10)10,000円/個人(10)1,000円(口数は問いません)
 【お支払い方法】 ・郵便振替[加入者名]学校法人横浜訓盲学院(口座番号00200-5-40861)
 ・現金
 【その他】 会費以外に寄附金も有難くお受けいたします。
 【お問合せ先】 横浜訓盲学院 事務局 TEL.045-641-2626